



園だより

4月号

新宿区立西戸山幼稚園 令和7年4月7日発行

わくわくの園生活をつくろう

園長 佐藤淳穂

ご入園、ご進級、おめでとうございます。

どんぐりの木には若草色の柔らかい葉が芽吹いています。梨の花、藤の花も咲き始め、モッコウバラの蕾も膨らんで、園庭はまさに春爛漫です。畑のスナップエンドウやソラマメも花盛り。収穫までが楽しい日々となりそうです。今年度は「スープの日」を実施します。自分たちで育てた野菜を調理することや食べることを通して、豊かな体験ができるようにと期待しています。



池にはカエルが来ています。オタマジャクシが泳ぎだすのを楽しみにしているのですが、まだ卵が見当たらず、気がかりでなりません。この春、園庭でカエルが初めて目撃されたのは3月上旬、啓蟄のころでした。2匹目が門の前の坂を上ってきたのはそれから10日ほど経ってから。2匹がめでたく池で出会ったのは終業式の朝でした。くっついたり離れたりする2匹のカエルに、子どもたちは驚いたり喜んだり…。石の上で動かないカエルを見たAさんは「フェイク?」と言って周りを笑わせました。お迎えに来たBさんのお父さんがひょいとカエルを掴んで持ち上げたのには「わー!」とみんなが声を上げました。

今週に入ってカエルは一匹になりました。気が合わずペアになれなかったのか、職員のいない時間帯には2匹になっているのか…子どもたちが恒例のオタマジャクシすくいを楽しめる日が来るように、祈るばかりです。自然はこちらの思うようにならないとあらためて思い知らされます。

今年は、池の環境改善を計画しています。生き物が暮らしやすい水辺をつくり、トンボやカエルに出会い、触れ合えるようにしたいという願いからです。子どもたちと一緒に緑豊かな園庭の生態系を守り、大切にしていきます。池の片隅でじっとしているカエルを見ていると、「パートナーを待っているのかな」「何も食べていないなあ」といろいろな問いが生まれてきて、子どもたちと話してみたいくなります。「どうしてかな」「やってみたい」と心を動かし、夢中になって遊べる環境づくりに努めてまいります。子どもたちが育ち合う豊かな園生活となりますよう、ご支援をよろしくお願いいたします。